

平成10年度北海道大学大学院理学研究科
物理学専攻修士課程(物理学分野)入試問題

問題 T-III

1. 体積 $V = L^3$ の立方体中にある 1 個の 3 次元自由粒子の Hamiltonian は、 m を質量、 p を運動量とするとき、次式で与えられる：

$$H = \frac{1}{2m} p^2. \quad (1)$$

- (i) この粒子 $N (\ll 1)$ 個からなる系が、温度 T の環境中におかれている。この系が古典統計力学に従う場合、分配関数 $Z(T, V, N)$ が次の形に与えられることを示せ：

$$Z = \frac{1}{N!} \left(\frac{V}{h^3} \right)^N (2\pi m k_B T)^{\frac{3N}{2}}. (k_B; \text{ボルツマン定数}, h = 2\pi\hbar \text{ はプランク定数}) \quad (2)$$

- (ii) (i) の結果をしようして、この系のエネルギー E の平均値 $\langle E \rangle$ と比熱 C_v を計算せよ。
- (iii) この系の化学ポテンシャル $\mu(T)$ を求めよ。
- (iv) 理想気体の成立条件 (つまり古典統計が適用可能な条件)、「粒子間感覚が、 $\sqrt{\langle p^2 \rangle}$ から決まるド・ブロイ波長に比べて十分大きい」を求めよ。
2. この系のエネルギー状態が離散的である場合、 i 番目の状態のエネルギーを ϵ_i 、 i 番目の状態に存在する粒子の数を N_i とする。粒子が Bose 統計に従うとすると、大きな分配関数 $\Xi(T, \mu)$ は

$$\Xi(T, \mu) = \prod_i \sum_{N_i=0}^{\infty} \exp \{ -\beta N_i (\epsilon_i - \mu(T)) \} = \prod_i [1 - \exp \{ -\beta (\epsilon_i - \mu(T)) \}] \quad (3)$$

と与えられる。

- (i) i 番目の状態の平均の粒子数 $\langle N_i \rangle$ が次の式で与えられることを示せ。

$$\langle N_i \rangle = \frac{1}{\exp \left\{ \frac{\epsilon_i - \mu(T)}{k_B T} \right\} - 1} \quad (4)$$

- (ii) 化学ポテンシャル $\mu(T)$ が負でなければならない理由を述べよ。

3. この系を量子力学で扱くと、1 個の粒子のエネルギー固有値は、

$$\epsilon(n_x, n_y, n_z) = \frac{\hbar^2}{2m} \left(\frac{p_i}{L} \right)^2 (n_x^2 + n_y^2 + n_z^2) \quad (n_x, n_y, n_z \text{ は正の整数}) \quad (5)$$

で与えられる。エネルギーを連続関数として表すと、エネルギー $\epsilon \sim \epsilon + d\epsilon$ に存在する単位体積当たりの平均粒子数 $\langle N(\epsilon) \rangle$ は、状態に依存しない定数をまとめて A として

$$\langle N(\epsilon) \rangle = A \frac{\epsilon^s}{\exp \left\{ \frac{\epsilon - \mu(T)}{k_B T} \right\} - 1} \quad (6)$$

と表せる。 $\rho(\epsilon) = A\epsilon^s$ はエネルギー ϵ が $\epsilon \sim \epsilon + d\epsilon$ にある状態数、すなわち状態密度である。

- (i) $\rho(\epsilon)$ の ϵ 依存性、つまり、 s を求めよ。
- (ii) (6) 式を使用して、化学ポテンシャル $\mu(T)$ を決める式を書け。
- (iii) (6) 式を使用して、この Bose 粒子系の単位体積当たりの比熱を求める式を書け。
- (iv) この系の比熱は、理想気体の成立条件をみたせば、1(ii) の結果に一致することを示せ。次の Gauss 積分の公式は証明なしで使用してよい。

$$I(n) \equiv \int_{-\infty}^{\infty} x^n e^{-\alpha x^2} dx; \quad I(0) = \left(\frac{\pi}{\alpha}\right)^{\frac{1}{2}}, \quad I(2) = \frac{1}{2\alpha} \left(\frac{\pi}{\alpha}\right)^{\frac{1}{2}}$$